

第二期和歌山県医療費適正化計画の進捗（平成 28 年度）

和歌山県は、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和 57 年法律第 80 号）第 9 条の規定に基づき、平成 25 年度からの 5 年計画として医療費適正化計画を平成 26 年 3 月に策定いたしました。

本計画は、急速な少子高齢化、経済の低成長、国民生活や意識の変化等医療を取り巻く様々な環境が変化するなか、国民皆保険を堅持し続けていくために、国民の生活の質の維持及び向上を確保しつつ、医療に要する費用が過度に増大しないようにしていくとともに、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を確保することを目的に策定されたものです。

この度、平成 28 年度の進捗状況について公表いたします。

※) 今回の公表については、数値目標の定めのある項目ごとの数値及び見解にとどめ、計画全体の途中経過についての分析・評価まで行っておりません。

県民の健康の保持の推進に関する目標値

1 特定健康診査の受診率

特定健康診査の受診率については、年々上昇しつつあるものの、計画で定める目標値及び全国平均よりも低い状況にあります。

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
和歌山県	34.7%	36.4%	38.2%	39.2%	39.9%
全国	43.2%	44.7%	46.2%	47.6%	48.6%
目標値 (H29 年度)	70%	70%	70%	70%	70%

今後、保険者においては、未受診者への受診勧奨や個別健診実施医療機関数を増やすなどにより受診しやすい環境の整備に努めるとともに、県では、保険者に向けた先進事例などの情報の提供等の支援を通じて、受診率の向上に取り組んでまいります。

※) 保険者：市町村、後期高齢者医療広域連合、全国健康保険協会、健康保険組合、共済組合 等

2 特定保健指導の実施率

特定保健指導の実施率について、全国平均は上回っているものの、平成 26 年度は前年度より 0.1% 減少し、上りどまりの状況にあります。また、計画に定める目標値とは大きく乖離があります。

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
和歌山県	10.9%	13.2%	18.7%	21.9%	20.9%
全国	13.1%	15.0%	16.4%	17.7%	17.8%
目標値 (H29 年度)	45%	45%	45%	45%	45%

今後、保険者においては、対象者への勧奨を継続するとともに、県では、指導従事者（保健師・管理栄養士等）のスキル向上のための研修等を充実させ、より効果的な指導が実施できるよう取り組ん

でまいります。

3 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率（対 20 年度比）

メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率（対 20 年度比）については、平成 22 年度時点でいったん大幅に減少したものの、平成 23 年度以降は、微増微減の状態で、ほぼ横ばいとなっています。

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
和歌山県	16.4%	-2.1%	-0.2%	1.0%	0.5%
目標値 (H29 年度)	25%	25%	25%	25%	25%

今後、保険者においては、保健指導の実施に当たって、実施率のみでなく、生活習慣改善・メタボリックシンドローム予防により重点を置いた指導や重症化予防を意識した指導を行っていくとともに、県では、研修の充実等取り組んでまいります。

4 成人喫煙率

成人喫煙率については、5 年ごとに実施する「国民健康・栄養調査」に因るため、直近のデータは公表されておりません。

今後、県、保険者ともども、平成 29 年度の目標達成に向けた更なる啓発等を行ってまいります。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
和歌山県	15.9%	—	—	—
全国	20.1%	—	—	—
目標値 (H29 年度)	13.2%	13.2%	13.2%	13.2%

医療の効果的な提供の推進に関する目標値

平均在院日数

平均在院日数については、着実に短縮しており、平成 26 年度末時点で、計画による目標値である 30.2 日を達成しています。

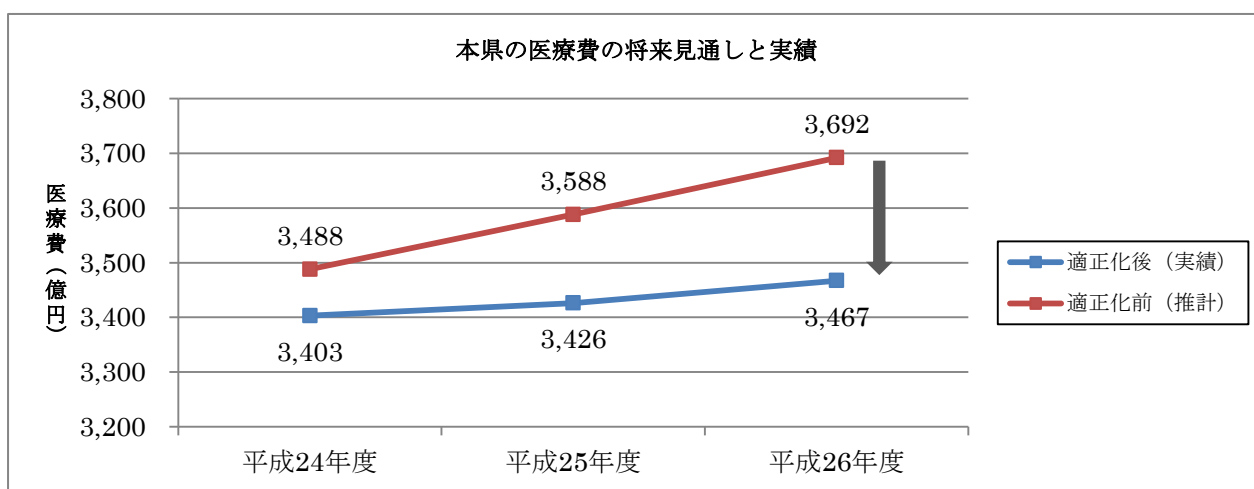
	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
和歌山県	32.7	32.4	30.9	30.3	29.6	28.9
全国	30.7	30.4	29.7	29.2	28.6	27.9
目標値 (H29 年度)	30.2	30.2	30.2	30.2	30.2	30.2

今後も県では、地域の実情に応じた良質で効果的な医療提供体制の構築に取り組んでまいります。

医療費の将来見通し

医療費については、増加傾向にあり、伸び率も微増しているものの、第二期医療費適正化計画策定時の将来推計との比較によると、単年度比較ではあるものの、適正化の効果は現れてきている様子が伺えます。

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
適正化後（億円）	3,403	3,426	3,467
適正化前（億円）	3,488	3,588	3,692
適正化効果（億円）	85	162	225



今後、県では、各事業の推進を通じて、更なる医療費適正化に取り組んでまいります。

全体考察と今後の方針について

計画に定める目標値全体についてみると、徐々に数値が向上しているものの、県民の健康の保持の推進に関する目標値については、進捗に遅れもみられます。

今後は、健診・レセプトデータの活用等も含めたより効率的・効果的な保健事業の実施に向け、医療保険者等を支援していくほか、地域医療構想を踏まえた医療の効率的な提供体制の構築を医療機関等関係者と連携して進め、将来にわたって誰もが安心して医療を受けることができるよう推進してまいります。